# 環境研究総合推進費　令和７年度中間評価個票

| | |
|---|---|
| 研究課題番号 | 5-2404 |
| 研究課題名 | 大気中マイクロ/ナノプラスチックの海洋-陸域相互作用と劣化機構 |
| 研究実施期間 | 2024（令和６）年度～2026（令和８）年度 |
| 研究代表機関名 | 早稲田大学 |
| 研究代表者名 | 大河内博 |

## １．評価結果

評価ランク：Ｓ

## ２．委員の指摘及び提言概要

測定方法の開発、各地での観測、劣化試験、健康影響評価、モデル開発などを含む大気中のマイクロ/ナノプラスチック（AMNPs）の環境動態解明の総合的研究として多くの研究データが生み出されており、サブテーマ間の相互連携にも工夫が見られ全体として順調に研究が進んでいる。μFTIR-ATR 法の計測技術は着実に改良が進められ標準化が目指されているが、Py-GCMS 法の併用に関してのメリットをさらに示していただきたい。これまでに貴重なデータが蓄積したことから、今後は地域性評価の一般化や汚染ルート解明、健康へのインパクト評価など、タイヤ摩耗粉じんも含めつつ AMNPs 全体への発生源寄与に関する定量的評価を期待する。また、将来的にむけてそれらの削減に向けた意欲的な提案も期待する。